



令和 2 年 10 月 21 日

**附属高等学校 3 年生が第 61 回国際数学オリンピック (IMO)
ロシア大会で銀メダルを獲得し、文部科学大臣表彰を受賞**

第61回国際数学オリンピック (IMO) ロシア大会が9月19日～28日 (日本時間) にオンラインで開催され、3年連続日本代表選手として参加した附属高等学校3年 渡辺直希さんが、銀メダルを獲得しました。

参加者は2日間にわたり、1日4時間半、各3問の筆記試験に取り組みました。1問7点、42点満点の合計得点で競い、成績優秀者にはメダルが授与されます。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響によってオンライン開催となったため、日本代表選手6人は東京に集められ、参加しました。

渡辺さんは、2018年の第59回国際数学オリンピック (IMO) ルーマニア大会、2019年の第60回国際数学オリンピック (IMO) イギリス大会に続き、3年連続で国際数学オリンピックの日本代表選手として参加しました。2018年、2019年と連続して銅メダルを獲得していますが、今年は日本代表選手の中で最高得点である29点で銀メダルを獲得しました。日本は銀メダル5人、銅メダル1人で、6人の選手全員がメダリストとなり、国別順位は13位でした。その結果、6人の選手全員が文部科学大臣表彰を受けました。

(参考) 文部科学省報道発表

国際数学オリンピック参加生徒の成績及び文部科学大臣表彰受賞者の決定について (令和2年9月29日)

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2020/1418176_00001.htm

【お問い合わせ先】

広島大学附属高等学校
副校長室
TEL:082-251-0192
FAX:082-252-0725